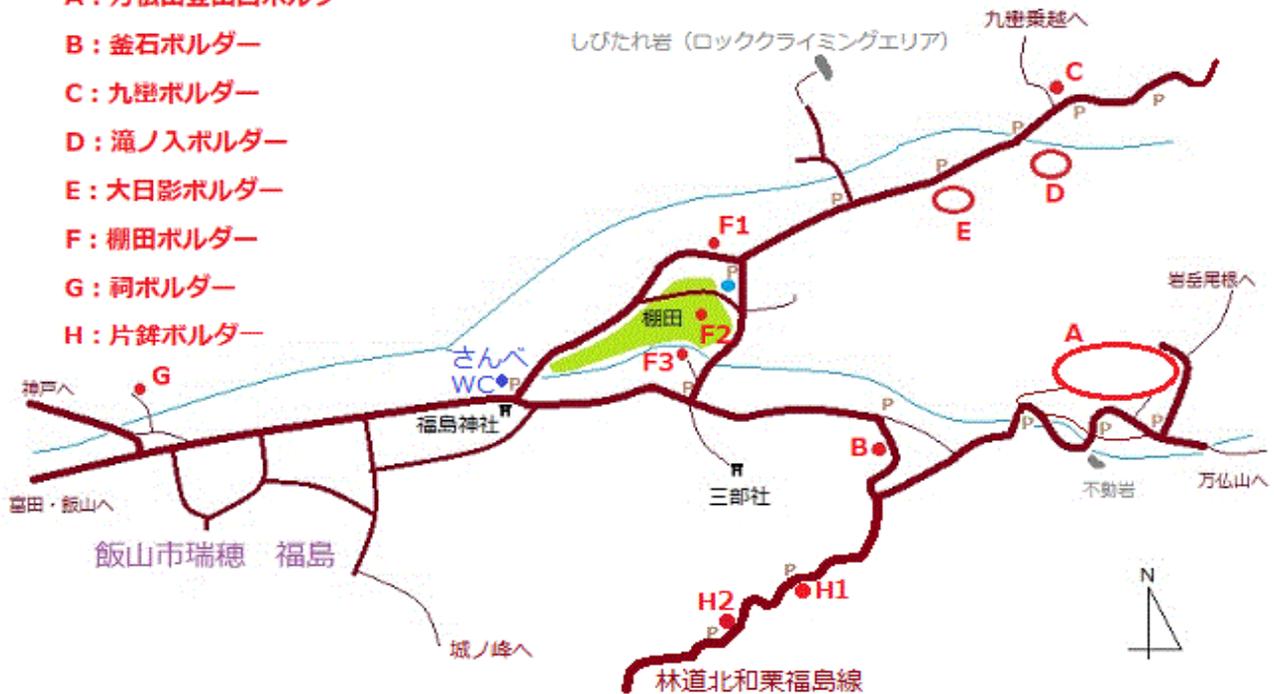


- A: 万仏山登山口ボルダー
- B: 釜石ボルダー
- C: 九壘ボルダー
- D: 滝ノ入ボルダー
- E: 大日影ボルダー
- F: 棚田ボルダー
- G: 祠ボルダー
- H: 片鋒ボルダー



信州の北東、飯山市、木島平村、野沢温泉村、栄村地域は豪雪地帯であり、昔から「奥信濃」と呼ばれている。

飯山周辺では、スキーは盛んであるがクライミングに関しては、昨年開拓した「岩木場しびたれ岩」を除き、クライミングに適した大きな岩場はなく、名の知れたボルダリングエリアの存在も耳にすることは少ない。

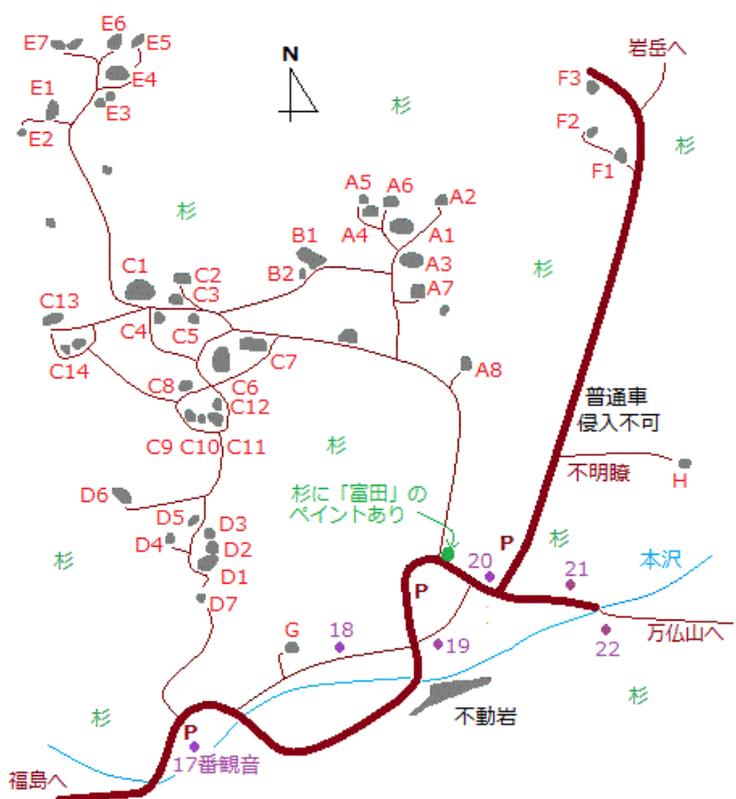
そんな地域にあって、小さいながらもなんとか遊べるボルダリングエリアとして最初に開拓したのが、瑞穂福島地区のボルダー群である。

紹介するエリアは、幾つかあるボルダー群の中のひとつであるが、万仏山が凝灰角礫岩の山であることから、そのイメージからもボルダーを探しに来るボルダラーはなかったとみえ、全く手つかずの状態であった。

確かに小さなボルダーばかりで、お世辞にも面白いとは言えないが、時間のない時など、近場に住むボルダラーにとって利用価値はありそうなので、超ローカルではあるが、こんなボルダーがあるという情報提供の意味で紹介する。

今回の改訂版(Ver.4.0)では、新たに上部エリア(E1からE7)、岩岳登山口エリア(F1からF3)及びG岩、H岩を追加した。

シーズンは、春から秋で、冬は雪に埋もれてしまい長期間利用できないが、梅雨時で関東で雨



が多い時でも、梅雨の末期までこの周辺は降雨が少なく意外と登れる。

岩質は安山岩(溶結凝灰岩?)で概ね硬くしっかりしているが、中には凝灰角礫岩もあり、ホールの欠落には十分注意してもらいたい。

アクセスは、飯山市瑞穂地区の福島集落を目指して行くが、「棚田の里」を目標にして行けば迷うことはない。棚田と阿弥陀堂を過ぎて、林道をさらに進み最奥まで行くと、「万仏山登山口」がある。駐車スペースがあるが、春先の倒木などで林道が荒れていると、最奥の駐車スペースまで入れないことがある。

なお、林道は毎年5月中旬までには、地元の森林保護組合が整備を終えることになっている。

アプローチはマップの通りであるが、駐車スペースに車を置き林道を40~50m戻ると、杉の木に「富田」とペイントされているので、そこから植林帯に入る。踏み跡をトラヴァース気味に行くと、小さなボルダー群が山の斜面に見えてくる。

なお、下部エリアの開拓に伴い、17番観音から入る新アプローチ(「中組区有林」と「大撫」の標識の左から入る)をつくったので、戸那子エリアまでは新アプローチから行くと早い。

《課題紹介》

【富田エリア】

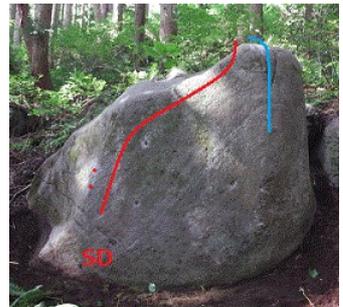
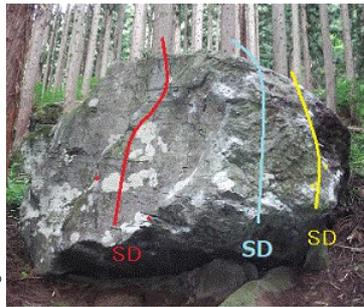
●A1岩(左:富田岩)・A2岩(右:虹岩)

富田岩は、2m弱の下がハングした小さな岩。

ハング中央の水色ラインは、右のガバに右ヒールして引きつけ手はガバを使わず直上する。

虹岩は、1.5m程の山の形をした小さな岩。赤ラインはムーヴがあつて面白い。

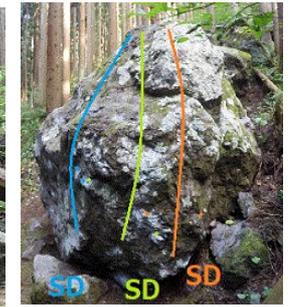
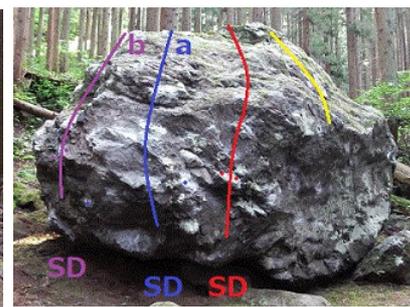
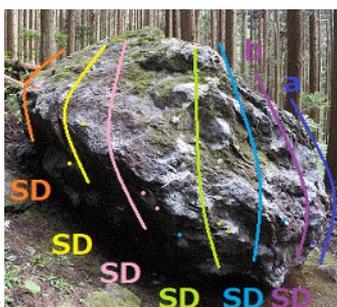
現在倒木処理が済んでおらず、この岩のみトライ不可である。



●A3岩(三部岩) 左:北西面 中央:南面 右:東面

富田岩(A3)のすぐ下の岩で高さはないが、周囲に課題があり、課題数が多い。殆んどがSDでスタート部分が核心。

ムーヴ的には、ピンク、藍、赤ライン辺りが楽しめる。黄色のSDは未解決。

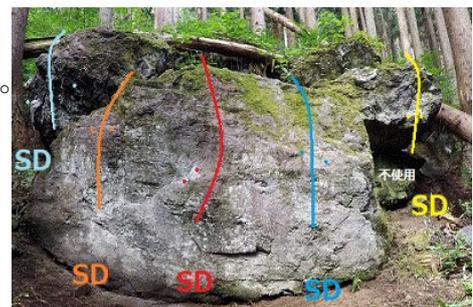


●A4岩(トポ左の手前)・A5岩(左の左奥)・A6岩(左の右奥)

A4岩は、SD課題が3本で、中央の赤ラインがそこそこ面白い。

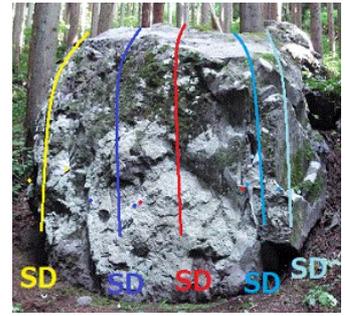
A5岩はSD課題のハング越え。

A6岩もSD課題のハング越えだが、下の岩は使用しない。少し脆いところがあるので注意が必要。



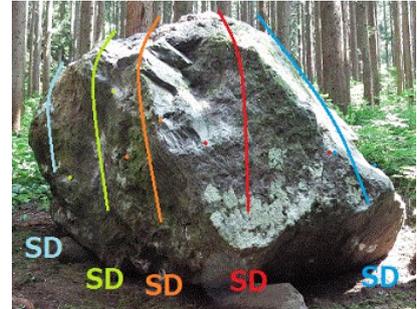
●A7岩(トボ右)

A7岩はA3岩の下にある岩で、易しいSD課題が5本ほどある。



●A8岩(出迎え岩)

アプローチで最初に出会う岩。小さな岩で課題はすべてSDスタート。ウオームアップ程度なら使える。

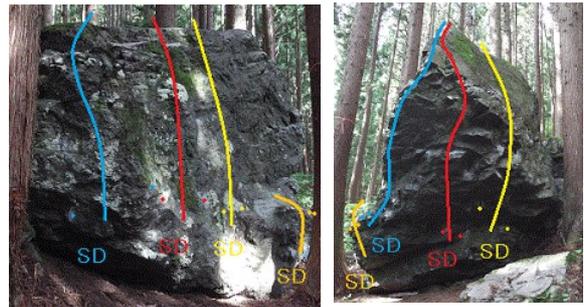


【中組エリア】

●B1岩(中組岩) 左:南面 右:東面

東面にハングを持った、3m弱の見た目がボルダーらしい岩。ハング下に岩があるので、パッドは必ず使用した方がよい。

中央の赤ラインは課題名「菜の花祭り」、黄色ラインは課題名「手打ち蕎麦」。



●B2岩 左:西面 右:南面

中組岩の下の小さな岩。
易しいSDスタートの課題が4本ある。

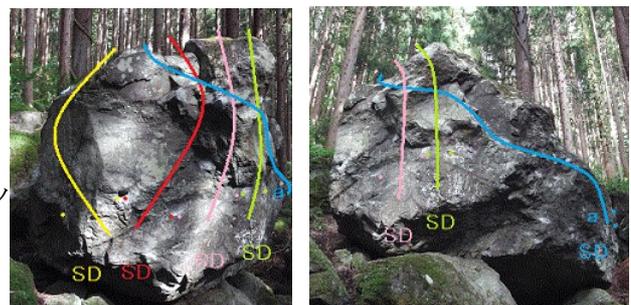


【戸那子エリア】

●C1岩(戸那子岩) 左:西側 右:南側

2~2.5m程の岩だが、下に土台石があり高さがあるので、南面は下にパッドを複数枚敷いた方がよい。

青ライン(課題名:朧月夜)はSDでスタートし、リップから左のフェイスに入りガバをトラヴァースしていく。



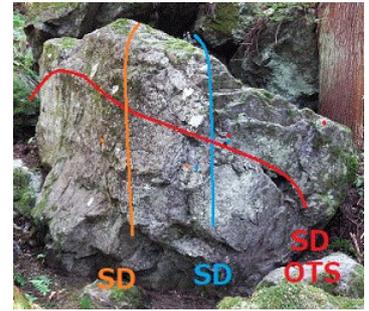
ピンクライン(課題名:渡し舟)はフィンガーで引きつけてガバをデッドで取るが、一手が厳しい。
赤ライン(課題名:野沢菜漬)はスウィングでピンクラインと同じガバを右手で取る。

●C2岩

戸那子岩の東側にある小さな岩。左上に動く岩が載っており心配だが、触らなければ、多分大丈夫。

設定課題は、すべて易しい。

赤ラインは、岩上のホールドを使用しない。



●C3岩

C2岩の下にあるハングした岩。

なるべくハング内のホールドからスタートしたかったが、リップより下に良いホールドがない。

赤ラインは、リップのガバで腰を下ろした状態でスタート。

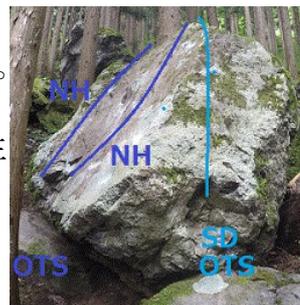
青ラインは、下の岩に腰を掛け、左手はリップのピンチ、右手はリップのガバっぽいスローパーでスタートする。落ちた場合、下と後ろに岩があるので注意が必要。



●C4岩 左:南西面 右:東面

ノーハンドと易しい課題が3本ほどある小さな岩。

東面は倒木がちょっと邪魔。易しいが、落ちた場合は倒木にあたり、ケガの可能性があるので注意が必要



●C5岩

C3岩の右下にある下がハングした小さな岩。

赤ライン(課題名:律の調べ)は、見た目は易しそうだが、左手のスタートホールド(一本指の穴)が意外と悪く、足の置き場もいまいちなのでカンテ上部の水平ホールドを取る一手が厳しい。

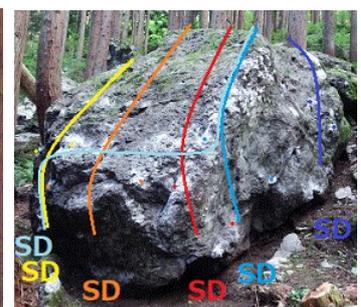
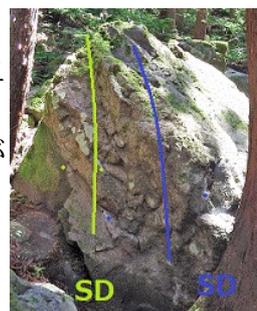
下の岩は不使用で、SDスタートだが、マットの厚みに助けられた感じあり。



●C6岩(犬飼岩) 左:西面 右:南面&東面

大きめの岩で、苔だらけだったが、落としたらそこそこ楽しめる課題ができた。

オレンジラインと赤ラインがムーヴがあり面白いが上部はスラブになってしまい易しい。



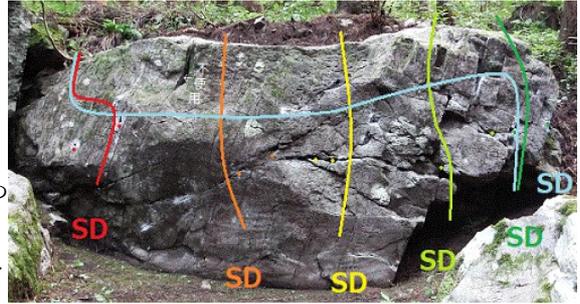
●C7岩(ピーナツロック)

犬飼岩の東側にある岩。苔と泥だらけだったが、掃除をしたら、そこそこ楽しめるボルダーになった。

すべてSDスタート。赤とオレンジ間の大きなクラックは使用しない。

課題名については、水色(スヌーピー 岩上に上がりず左上の木までトラヴァース)、赤(チャーリーブラウン 手の入れ替えがちょっと厳しい)、オレンジ(ウッドストック 右手のスタートホールドの穴が持ちにくい)、黄

(ルーシー 穴が幾つか並んでいるが、スタートホールドをいろいろ替えてみると、易しかったり難しかったり)、黄緑(ライナス ハング越え)、緑(ピッグペン ハング越え)

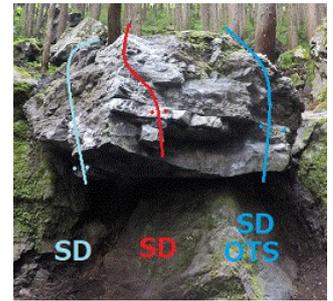


●C8岩(KMハング)

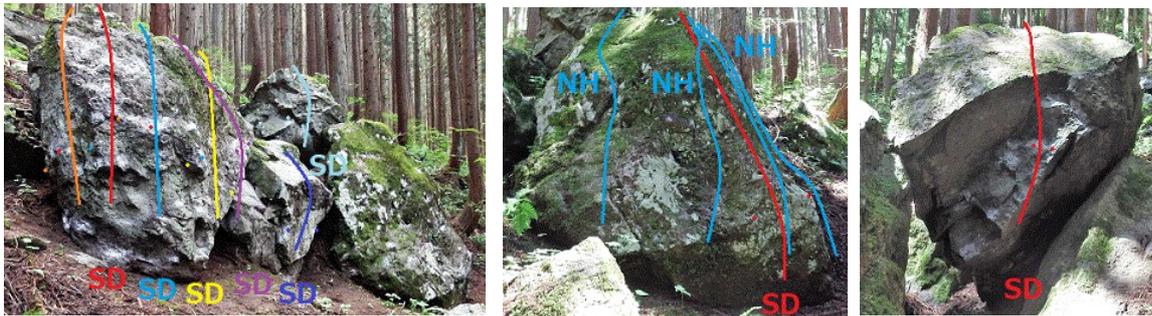
犬飼岩の西側にある下が完全なルーフの岩。スタートはガバだが足が奥に入るので、意外とパワフル。

水色ラインは、スタートのホールドが浮石なので注意が必要。一応接着剤で固めたがいつ剥がれるか分からないので注意が必要。

青ラインは下の石に腰かけてスタート。



●C9岩(左の一番左の岩)・C10岩(左の中央の岩)・11岩(中央)・12岩(左の上の岩と右)



C9岩は、5本ほどSD課題があるが、黄色ラインと紫ラインがちょっと面白い。

C10岩は、両手で引き付け、デッド一発。

C11岩は、傾斜がなく、ノーハンドの課題が4本ほどあるが、高さがあるので、スリップには注意。

C12岩は、C11岩の上にある小さな岩。東西のフェイスにSD課題がある。

●C13岩(トポ左:西面 トポ中央:南東面)・C14岩(トポ右)

C13岩は、西にあるボルダーの上側の2段に重なった小さな岩。

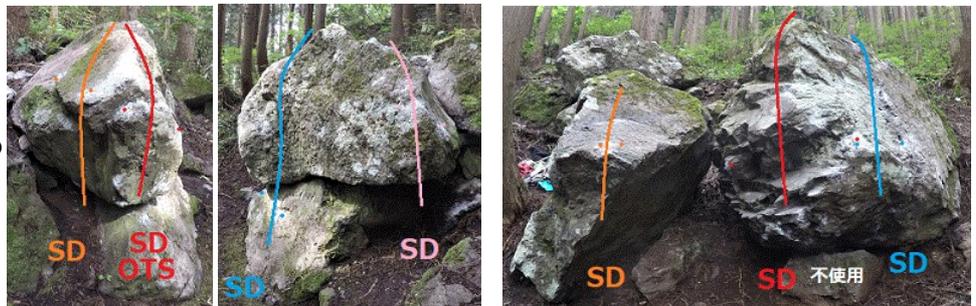
ピンクラインは、後ろの岩は使わない。

オレンジラインは、後ろの岩に腰かける感じでスタート。

赤ラインは、下の岩に腰かけてスタート。

C14岩は、西にあるボルダーの下側の2つ並んだ小さな岩。

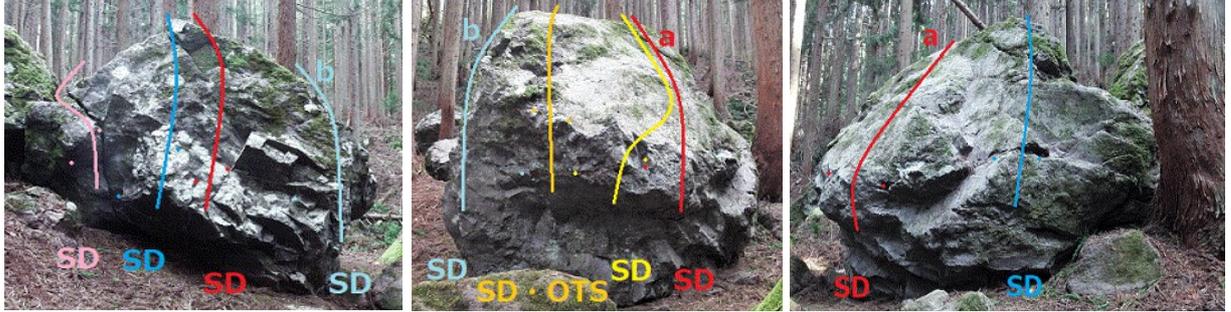
赤ラインと青ラインが、短いムーヴがあって面白い。



【下部エリア】

●D1岩

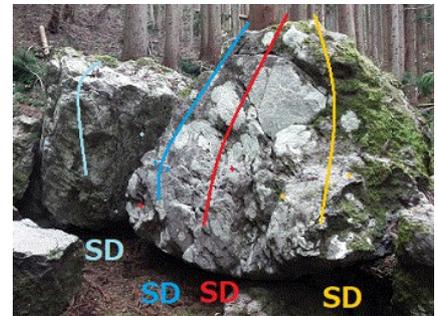
左:西面 中央:南面 右:南東面



下部エリアの中では大きい方の岩で、上がスラブとなってしまう易しく面白みはないが、強いて言えば黄色ライン辺りが面白い。

●D2岩&D3岩

左奥:D3岩 右前:D2岩
D1岩と並んでいる小さな岩。
スタートが核心だが、易しい。



●D4岩

少し西に離れたところにある小さな岩。



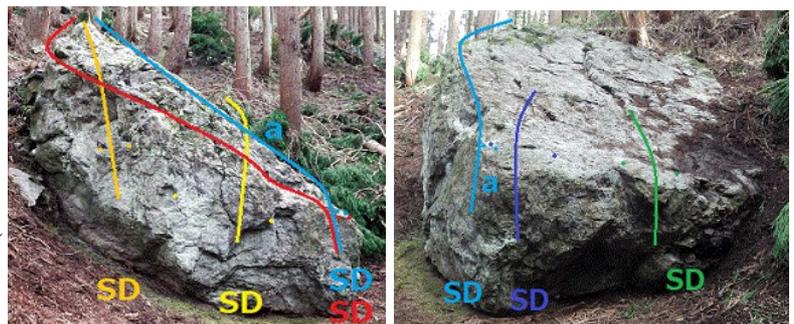
●D5岩

D3岩の北にある小さな岩。
赤ラインは、横に寝た状態からスタートするが窮屈。



●D6岩

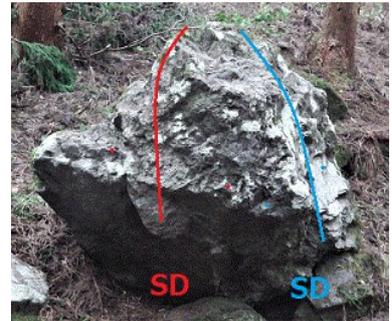
左:南西面 右:東面
D5岩から左上に登って行ったところにある岩。
課題は全体的に易しいが、青と赤ラインはラインが長いので、そこそこ楽しめる。
赤ラインは青ラインとスタートホール



ドは同じだが、あとはスラブの縁のホールドとの共有は無し。
東面はスラブに上がって終了。

●D7岩

新しいアプローチを行って、最初にある小さな岩。
特に面白みはない。



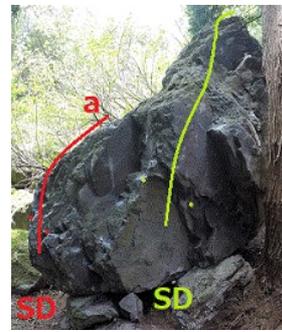
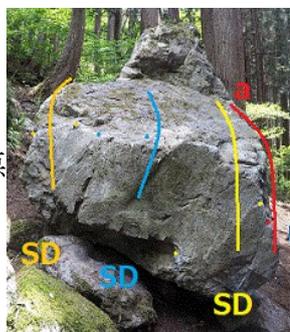
【上部エリア】 植林と広葉樹林帯の境界にあり、明るく岩の乾きも良い。

●E1岩

左:西面 中央:南面 右:東面

C1岩(戸那子岩)から斜面を登って行って、最初にある目立つ岩。南面は傾斜地で下地が少し悪い。

ムーヴ的には、南面左のカンテライン(赤ラインa)と東面の赤ラインが面白い。



東面の赤ラインは、両側のカンテ不使用で、小さなカチホールドで体を上げ、リップにデッドポイントする。

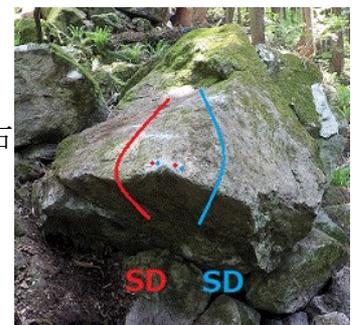
ピンクラインは両サイドのカンテを使用。

南面の赤ライン(a)dから上のカンテ部分のガバを使わず、右に黄緑ラインに合流する課題は未解決。

●E2岩

F1岩の西にあるルーフの岩。小さいので、近くまで行かないと存在が分からない。

課題は、ルーフの先端からSDスタートで、左抜けと右抜けがあるが、右抜けの方が少し難しい。

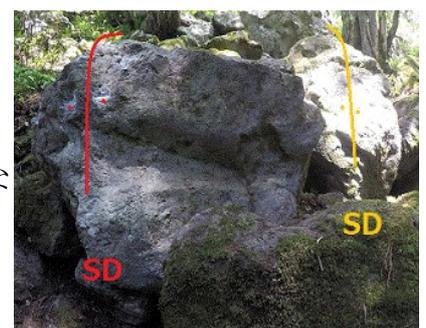


●E3岩

F1岩から登って行って、ゴーロ状になった所の、最初の小さな2つのボルダー。

左下のボルダーの赤ラインは、左手は穴ホールド、右手は小さな外傾ホールドで体を上げ、右手をカチホールドに飛ばす。

右上のボルダーの課題は、傾斜もなく易しい。



●E4岩

左:西面
中央:南面
右:東面

見た目は大きめの岩だが、高さは2m程。

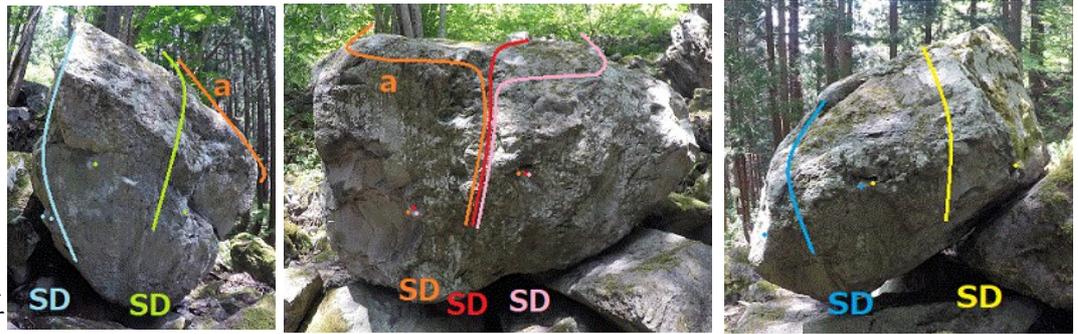
課題はそこそこ面白いが、下地

が悪く、岩で凸凹しているので、クラッシュパッドを上手く敷き、ケガのないようにしたい。

ムーヴ的には、南面の3本と西面の水色ラインが面白い。

南面のピンクラインは右の縦ガバを使って上がる。赤ラインは右の縦ガバに出ず、スラブの小さなホールドを使って這い上がる。オレンジラインはリップのホールドを使い、左から回り込むようにして上がる。

西面の水色ラインは一番下のホールドからスタート。

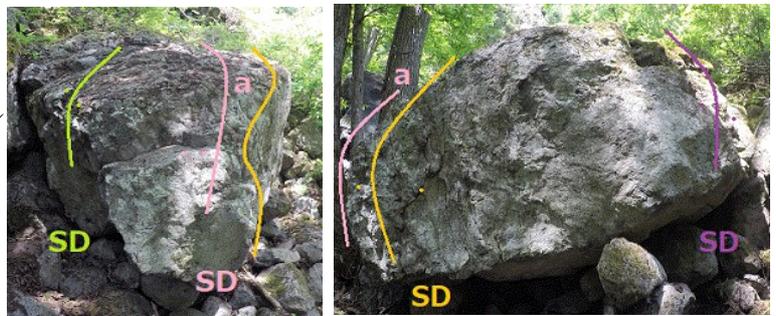


●E5岩

左:西面 右:南面

岩の東西に4本の易しい課題がある。

強いて言えば南面左のオレンジラインが面白い。足の置き場が分かれば、あとは問題なし。



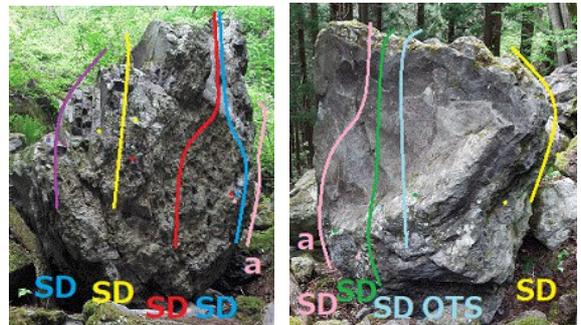
●E6岩

左:南面 右:北東面

上部エリアの一番上にある目立つ岩だが、下地がちょっと悪く、東面は木の間が窮屈で、南面は落ちた時に下に転がる可能性あり。

ムーヴ的には、赤、青、ピンクライン辺りが面白い。

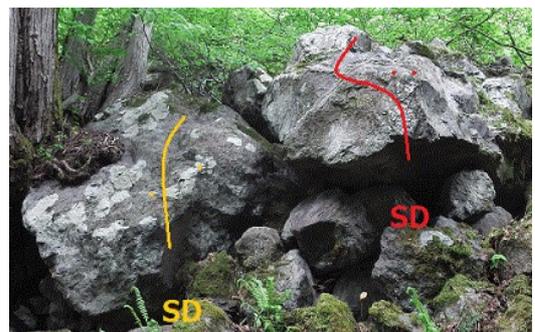
東面の水色ラインは岩に腰かけてスタート。緑ラインは下からスタートだが、落ちた時に木や岩があるので注意が必要。



●E7岩

最上部左側のハングした2つの岩。

赤ラインはヒールをかけながら、左から回り込むようにして這い上がる。どうしてもルーフ下にある石が邪魔だが、支えとなっているので仕方がない。



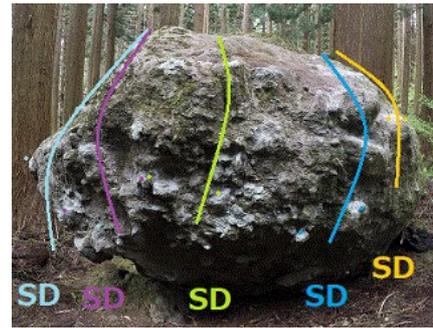
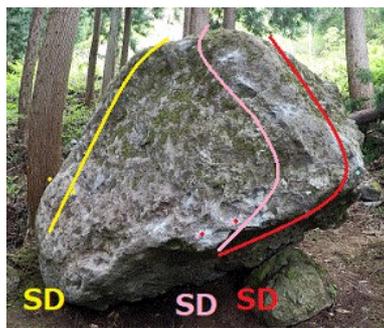
【岩岳登山口エリア】

●F1岩

左:南面 右:北東面

岩岳登山口の手前、谷側にある小さな凝灰角礫岩の岩。

苔だらけの岩で、面白みを感じなかったが、苔を落としてトライしてみると、ハング越えの面白い課題が出来上がった。



南面の赤ラインは、ハングのトップをとってからスラブの真ん中にあるガバを使って這い上がる。

ピンクラインは、カンテ左のパーミングホールドをとって、身体はカンテより左にして岩上のホールドをとる。

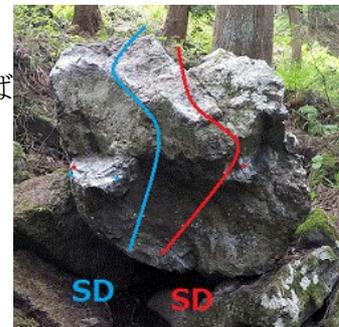
北東面はノブホールドだらけのフェイスで易しいが、なるべく下のホールドを使ってトライすると楽しめる。

●F2岩

F1岩の奥にある小さいがボルダチックなムーヴの楽しめる岩。

赤ラインは、一旦右のガバをとってから、上の斜めのガバに左手を飛ばす。

青ラインは、引き付けてリップのホールドを取り、赤ラインより左気味に上がる。

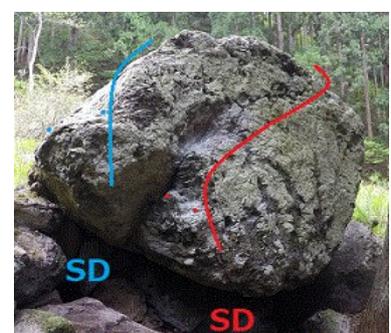
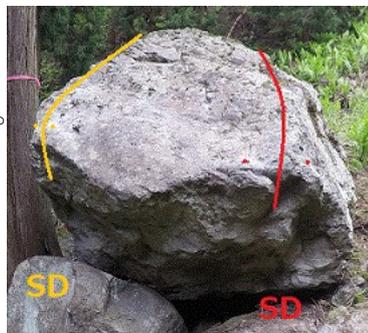


●F3岩

左東面 右:南西面

岩岳登山口のすぐ側にある小さな岩。

課題は易しいが、強いて言えば、南西面の赤ラインがムーヴがあり面白い。

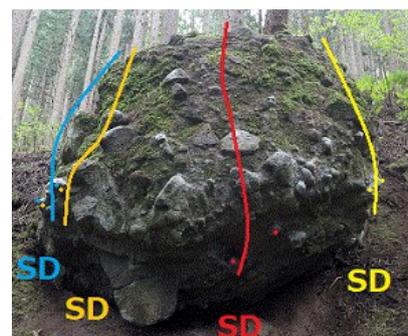


【その他】

●G岩

林道から18番観音への参道に入り、少し登った所で、左の土手に見える苔だらけの岩。まだ上部は苔である。

万仏山の特徴ある凝灰角礫岩の岩で、大きなノブホールドが多く課題は易しい。岩があったので、一応登ってみたという程度の岩。



●H岩

万仏山と岩岳の分岐から岩岳側に入り、100m程進んだところから右に50m程植林帯を入った所にある岩。林道から木間にちょっと見える。アプローチは不明瞭だが、裂けた杉の倒木から入っていくと迷わない。

小さな岩で、一応岩があったので登って見たという程度のものだが、もう少し大きければと思うと残念。

課題としては、青と紺のラインがムーヴがあり面白い。

